

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
3	進一	外国語	英語表現Ⅱ	全	必修	3

講座のねらい

2年次までに学んだ文法や英語表現を用いて、まとまった長さの英文を論理的に書ける力を養うことをねらいとします。また、国公立2次試験の英作文に対応する力も養成します。

使用教材及び問題集

英作文問題集「システム英作文」(桐原書店)、
「入試必携 英作文 WRITE TO THE POINT」(数研出版)
センター対策リスニング(啓林館)

授業の内容と進め方

予習で演習した問題について、授業で確認していきます。確認の際、文法参考書「Vision Quest」を用いて、既習文法をもう一度復習します。また、各授業の冒頭10分～15分を使ってリスニング対策委の演習も行います。

さらに週1回はALTの指導のもと、書いた英文における表現のバリエーションや自然な英語表現についての検討をしたり、自由英作文の対策をします。

講座の到達目標

自分の考えを適切な英語表現で論理的に相手に伝える能力を養うとともに、国公立2次試験の英語表現問題に対応できる力をつけることを目指します。

評価の観点・テスト・課題など

定期テストのほか、課題考査、提出物、小テストなどを加味して評価を出します。

備考

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

「システム英作文」 p 2 2 ~ p 5 3

5. 助動詞
6. 仮定法
7. 不定詞
8. 動名詞
9. 分詞
10. 態
11. 比較
12. 否定

※長期休暇や授業の進み具合によって、自主課題とする場合もあります。

2 学期 学習計画および学習内容

「入試必携英作文 WRITE TO THE POINT」 p 8 ~ p 6 3

1. 主語の決定 (1)
2. 主語の決定 (2)
3. 目的の表現
4. 理由の表現
5. 時制 (1)
6. 時制 (2)
7. 動詞の語法
8. 関係詞
9. 時間の表現
10. 数字の表現
11. 仮定・条件の基本
12. 仮定・条件の応用
13. 比較の基本
14. 比較の応用

※長期休暇や授業の進み具合によって、自主課題とする場合もあります。

3 学期 学習計画および学習内容